



2026年4月8日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 伸弘
(コード番号 5713 東証プライム)
問合せ先 広報IR部IRグループ長 井上 敦行
(TEL. 03-3436-7705)

フィリピン子会社のITシステムへの不正アクセスに関するお知らせ

当社はフィリピンのニッケル製錬子会社であるCoral Bay Nickel Corporation (本社：フィリピン共和国パラワン州、以下「CBNC」)の一部サーバにおいて、第三者の不正アクセスによるランサムウェア感染被害が発生したことをお知らせします。経緯および現在判明している影響については、以下をご参照ください。

今後、新たな情報が判明しましたら、速やかに公表いたします。

取引先様、関係者の皆様にご心配をおかけすることになり、深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

4月2日(木)、CBNCのサーバ2台が暗号化されていることを検知しました。第三者の不正アクセスによるランサムウェア感染被害が原因と想定されたため、直ちに該当サーバの隔離措置を実施しました。

現在、外部専門家の支援を受けながら、影響範囲の調査と復旧への対応を進めております。

2. 現在判明している影響

(生産)

CBNCの生産プラントの制御系に影響はなく、操業は継続しています。

また、CBNC以外の当社グループの各鉱山・製錬所・工場においても、生産活動に関する影響はありません。

(通信)

CBNCおよび、CBNCと通信ネットワークの一部を共有するSumitomo Metal Mining Philippine Holdings Corporation (本社：フィリピン共和国マニラ首都圏タギッグ市)とTaganito HPAL Nickel Corporation (本社：フィリピン共和国スリガオ・デル・ノルテ州)において、ネットワークを遮断しています。

フィリピン以外に所在する当社グループの各拠点への影響はございません。

(業績・決算発表)

当社グループの2026年3月期の業績に及ぼす影響については、現時点では軽微であると考えておりますが、現在、決算発表への影響を含め、精査中です。

以上